



# 社協だより

築城社会福祉センター



筑上町椎田社会福祉センター『自愛の家』改修工事のため社協事務所仮移転しました。

**移転先** 筑上町築城社会福祉センター 〒829-0105 筑上町大字上別府 73 番地  
☎0930-56-2223 (自動的に転送されます)

**移転期間** 令和6年2月26日～令和7年1月31日予定  
(工事の事情により延長することがあります)

※自愛の家福祉バザーは仮移転の間お休みします。再開の際はお知らせいたしますのでよろしくお願いいたします。



©SHIKUJO SHAKYOSHI



# 広報部会 より

## 令和5年度福祉入門教室 広報部会 進 博義

「もしもに備えて地域で防災

～災害図上訓練「DIG」を体験～

日時：1月27日(土)

講師：一般社団法人九州防災パートナーズ  
代表理事 藤澤 健児氏



令和6年は1日の「能登半島地震」で明け、地震国日本の危うさを改めて認識すると共に、毎年繰り返される梅雨から台風シーズンの終わるまでの、豪雨・暴風による甚大な被害と併せ『防災活動』は私達に課せられた大きなテーマであると思います。

### 講習の要点

- (1) 災害図上訓練「DIG」とは、Disaster(災害)、Imagination(想像力)、Game(ゲーム)頭文字をとったもので、参加者が地図を囲んで災害時の対応について自由に意見を交換し、情報を共有することで地域の安全性や弱点を把握できる。また災害発生時の避難、自助・共助活動を地図上で体験することで、文字だけで考えるより明確なイメージが認識できる。
- (2) 災害対応に当たっては、スムーズな状況把握と的確な判断が求められる。図上訓練では、①避難所を明確にする。②一時集合場所を決める。③避難路を考える。④危険箇所を探す。⑤安全な避難のために注意すべきこと。……までを体験。

このため[準備→資料の作成→実施→成果のまとめ]と、作成にあたって個別の流れの中の注意点、留意すべきこと等を解説された。

豪雨・暴風等の過酷な自然災害は避けることができませんが、「もしもに備えて」地域で防災意識と連帯感を高めていくことが大切であると考えさせられる講座でした。



## 令和6年能登半島地震災害義援金を募集しています

令和6年1月1日に発生した能登半島を震源とする地震により、北陸地方を中心に人的及び家屋への甚大な被害が発生し、複数の市町村に災害救助法が適用されました。これを受け、被災された方々を支援することを目的で福祉センター窓口には募金箱を設置して義援金を募集しています。皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

受付期間：令和6年1月5日(金)から6月28日(金)まで  
(※被災県の状況に応じて、期間を延長する場合があります。)



### 入門手話 講習会

日時 令和6年4月25日(木)～11月21日(木)まで 毎週木曜日 19:00～21:00  
(但し、4月25日、11月7日、14日、21日は 19:00～20:00)

回数 30回

場所 築城社会福祉センター

定員 20名

対象年齢 中学生以上

受講料 2,000円

募集：4月19日まで電話にて受付  
問合せ：築上町社会福祉協議会  
電話 0930-56-2223  
(平日8:30～17:00まで)



# 寄付金のお礼

築上町社会福祉協議会に次の方々よりご寄付をいただきました。ご芳情に対して厚くお礼申し上げます。  
この浄財は、社会福祉事業を推進するために、大切に使用させていただきます。

なお、社会福祉協議会へご寄付された場合は、所得税の控除対象となります。  
(令和5年12月16日～令和6年2月19日受付分まで掲載)

## 香典返し

### ◆椎田地区

〔湊〕南 太田 千明様 (亡夫 光彦様)  
〔椎田中〕 井田 有造様 (亡母 谷口ひろ子様)  
〔西高塚〕 村上 悦次様 (亡義父 西川繁吉様)  
〔東高塚〕 田上 美次様 (亡父 秋吉京太郎様)  
〔宇留津〕 米田 公智様 (亡夫 宏幸様)  
〔東八田〕 堤 和子様 (亡父 勇様)  
〔東八田〕 山田 男様 (亡父 是木スミ子様)

### ◆築城地区

〔山添〕平 塚 下 塚 信 宏 篤 義 隆 早苗 隆子 康夫 早苗 隆子 康夫 早苗 隆子  
〔寒田〕垣 内 喜代子様 (亡夫 康男様)  
〔上本庄〕小 野 芳枝様 (亡夫 良久様)  
〔赤幡〕平 塚 悦子様 (亡妻 悦子様)  
〔上小山田〕永 尾 美子様 (亡夫 隆雄様)  
〔上築城〕白 石 寿一様 (亡夫 眞二様)  
〔上別府〕末 吉 秀一様 (亡夫 眞二様)  
〔下別府〕中 山 房 弘 恵 様 (亡夫 英夫様)

### 一般寄付

田中 鏡子様  
豊前ライオンズクラブ様  
築上町シルバー人材センター様  
辻自動車工業株式会社様  
實成寺寒修行団様

## 赤い羽根共同募金 法人募金

宝積寺様  
有本歯科医院様

## ちくじょう子ども食堂へ食材等のご寄付をいただきました (令和5年12月16日～令和6年2月19日受付分まで掲載)

- ・井上 俊明様 ・長濱 康彦様 ・畠山 了章様
- ・宮内 諭様 ・安部味噌製造所様 ・寒田産野菜様
- ・伊三郎製ぱん 苅田店様 ・社会福祉法人 大幸会様
- ・結いの石窯パン様
- ・ワークランド こすもす様
- ・宮崎リハビリテーション医院様
- ・匿名希望 3名様



## フードバンクへ食品などのご寄付をいただきました (令和5年12月16日～令和6年2月19日受付分まで掲載)

- ・藤原 様 ・社会福祉法人 大幸会 様
- ・築上町商工会 様 ・築城郵便局 様
- ・八津田校区民有志 様
- ・ワークランド こすもす 様
- ・匿名希望 4名様



## ふるさと回想 「野山を駆け巡って得た創造性」

静岡大学名誉教授 弓野 憲一 (静岡市在住78歳)

私は終戦の年(1945)に、真如寺の本村で生をうけた。二十軒ほどの小さな集落である。

小倉工業高校を卒業して大阪の小さな会社で一年半ほど働き、帰郷して福岡教育大に進学した。そして教育研究に興味をもち、九州大学で博士課程を終えて静岡大学教育学部へ赴任して、30年以上教員養成に従事した。

村の生活は四季の行事とともにあった。2月はどんど焼き。4月は桜見。5月は祭り。6月は田植え、ホタル狩り。7・8月は田の草とり、うなぎ取り、池や川での水遊び。9・10月は稲刈り、運動会。11月は山芋ほりと麦踏み。12月は山でのわなかけ。獲物はヒヨ、カチ、山鳥、コジケイ等であった。

「どんど焼き」では、村の子ども会が集めた山なりの小枝を中学生が10mほどもある「孟宗竹」を支柱にピラミッド状に積み上げた。そして当日これに火を入れた。すると燃え上がった炎は河原を超えて、谷中をあかあかと照らした。火がおさまる頃には村人が「餅」をもって現れた。冬空の北斗七星にまつわる話をききながら、膨らんだ餅をほおばった感覚が今もよみがえる。「山芋ほり」を紹介しよう。ある年の11月、隣の谷に分け入り中指ほどの大きさのツルを発見、長い山芋ほり棒で届く深さまで掘ったが、芋は更に深く伸びていた。しかたがないので、膝の深さほどの作業場をつくり掘り進めた。日は落ち、穴の中はしだいに暗くなった。全てを掘り出すのを諦めて芋を折った。折口の太さは少年の拳ほどもあった。この芋を食べる家族の笑顔が忘れられない。ふるさとの野山を駆け巡った遊びを通じて培った「工夫する習慣」は、今も探求を続けている「創造性の教育」に深く結びついている。

知らんやった！ 地域は宝の山やあ〜〜ん！

生活支援コーディネーター 吉留 加奈

## 生活支援ボランティア『つむぎの会』活動報告

「自分たちの住む町を自分たちの手で住み続けられるようにしたい」という住民のみなさんの思いのもと、令和5年2月に生活支援ボランティア『つむぎの会』が立ち上がり、1年を迎えました。

令和5年3月よりボランティア活動者さんの募集が始まり、現在18名の方が活動者登録をしています。5月よりご高齢者の困りごとの申し込みを受け入れ、支援活動を開始し、現在は14名の方が利用者登録をしています。

病気やケガのため、ご自身でできなくなったゴミ出し、カーテンの洗濯及び取り付け、買い物の代行、玄関周りなど生活導線上の清掃（草取り）、寝具のクリーニング（持ち運び）など、ご高齢者の“ちょっとした困りごと”をお手伝いする活動を行っています。毎月開催している定例会では、活動状況や活動内容で判断に迷うこと、スムーズに活動できた事例などを活動者さん同士共有し、情報交換、意見交換を行いながら次の活動に役立てています。

活動者さんは「活動してみて気付くことがたくさんある」とよく話されます。支援活動を通じた利用者さんとの交流の中で、日頃の暮らしのことやこれまでのこと、これからのこと、生活の中での困りごとや楽しみにしていることなど、会話を重ねお互いを知ることで、気にかけて合う関係を育み、助け合いの輪が広がっていくのだと思います。困りごとがあるときに言い出せず、人に頼ることが苦手な方もおられます。でも、「できるときにできることをしたい」という思いをもって活動し、人に頼られること、喜んでくれることが嬉しいと感じる方もたくさんいます。何か手助けが必要なときに、「手伝ってほしい」とお互いに言い合える地域で「支えたり、支えられたり」しながら、誰もが安心して暮らしていけるような地域づくりを目指して、人と人との関係を紡ぐ『つむぎの会』は、活動者さんと利用者さんともに歩みを進めていきたいと思っています。



### 買い物支援

#### 活動紹介

- 定期の支援  
移動手段がない方の買い物代行
- 不定期の支援  
体調不良等により、ご自身で買い物に行けない方の買い物代行



## 11 住み続けられるまちづくりを



能登半島地震という大きな災害で始まり、今でも多くの方達が不便な生活を強いられている令和6年の幕開けでしたが、これを機にもう一度、防災についてSDGs（持続可能な開発目標）の観点から見直してみてもどうでしょうか？

SDGsには17の目標がありますが、特に深く防災と関係しているのは以下の目標11の「住み続けられる街づくりを」です。

この目標は「災害に強い街づくり」をターゲットにしており、災害が発生したときに私達住民が如何に被害を減らせるかという点が重要視されています。

「誰一人取り残さない（leave no one behind）」を念頭に今一度、住民の皆さんが改めて認識し、防災と減災のための具体的な行動をして頂ければ…と願っております。

編集後記  
広報部会  
笠継秀昭

